

只今HPを作り直しています

最近の『チャイルド・ケモ・ハウス』に滞在中のご家族の様子をお伝えします。

ある日突然、こどもの治療にあたってくださっている主治医の先生から、「ここでの治療はこれ以上無理です...生還の可能性があるのは、神戸か北海道です、どちらに行きますか？」

と問われたら...貴方ならどうしますか...

神戸のチャイルドケモハウスに滞在されている患児さんのご家族は、みなさんそう言われてやって来ました...

交通費、滞在費、滞在中の生活費...住み慣れた町を離れて、不慣れな町神戸での生活...

治療に時間がかかり、半年、一年と滞在されるご家族もいらっしゃいます...僕が代表理事に就いてからでも、鹿児島、熊本、高知、愛媛、香川、広島、岡山、和歌山、名古屋、横浜、千葉から。

ハウスの宿泊費は、一泊小さい部屋が1,000円と大きい部屋が1,500円。

「安いじゃない!」との声をよく耳にしますが、1,000円の部屋でも1ヶ月30,000円、1,500円の部屋では45,000円...それが数ヶ月もつづく...若い世代のご家族には大きな負担です...

「一日中病室の子どもに付き添っているから...休憩は駐車場の車の中で...お風呂は病院のシャワーです...」とおっしゃるご家族...

先日、ハウスで豚汁と炊き立てご飯をお出しした時は、「炊き立てのご飯を食べるのは半年ぶりです...」と、涙を浮かべるおかあさんも...1,000円の部屋はキャンセル待ち...1,500円の部屋は空きがある...一日500円でも節約したいんです。

そんな環境に置かれてしまったご家族の経済的負担を少しでも減らすために～10月1日からハウスの宿泊費を一律1,000円に～滞在中のお食事もある限りお金を使わなくてすむように、ファミリースペースに、自由に持って行って戴ける『食料品・飲料水コーナー』と『日常雑貨コーナー』を作りました。

代表理事に就てからみなさんにお願ひばかりしていますが、引き続き～食料品、日常生活品、ハウス運営の為のご寄付をよろしくお願ひします。

昭和の母たちが日常生活で挨拶がわりに使っていた魔法の言葉『困った時はお互い様』をふたたび!

チャイルド・ケモ・サポート基金

代表理事 堀内正美